

平成29年度 横須賀美術館運営評価報告書について

横須賀美術館は、毎年度運営の評価を行っています。このたび、平成29年度の評価結果を報告書としてまとめました。

1 横須賀美術館運営評価システムの概要

- (1) 自己点検の一次評価と、運営評価委員会による二次評価による評価。
- (2) 一年度の活動を翌年度に評価。
- (3) 3つの使命、8つの目標に基づく事業体系とした評価。
- (4) 目標ごとに達成目標（数的指標）と実施目標（質的指標）による評価。
- (5) 評価基準はわかりやすくS、A、B、C、D、Fの6段階で表示。

2 評価を受けての改善への取り組みについて

- (1) 前年度（平成28年度）評価時にいただいた意見等に対する平成29年度の取り組み等について

使命Ⅱ 美術に対する理解と親しみを深める	
目標③ 調査研究の成果を活かし、利用者の知的欲求を満たす	
【評価委員会からの意見等】	【平成29年度の取り組み等】
・キャプション文字の見にくさ等を改善すれば満足度は大幅にアップすると思われる。	・解説を付け、キャプション文字を大きくするなど、改善に取り組んだ。
目標④ 学校と連携し、子どもたちへの美術館教育を推進する	
【評価委員会からの意見等】	【平成29年度の取り組み等】
・この3年間で幼児の観覧者数が微減している理由を分析する必要あり。	・展覧会の内容によって年齢構成は大きく変わる。平成29年度は幼児向けの展覧会（tupera tupera展）があることから、子育て世代向けの雑誌にプレスリリースを行った。
目標⑤ 所蔵作品を充実させ、適切に管理する	
【評価委員会からの意見等】	【平成29年度の取り組み等】
・美術品の購入が途絶えると優れた美術品の情報が集まらなくなり、将来的な美術館活動に影響する懸念が強くある。	・美術品購入予算の財源について、関係部局と話し合い検討した。

使命Ⅲ 訪れるすべての人にやすらぎの場を提供する 目標⑥ 利用者にとって心地よい空間、サービスを提供する	
【評価委員会からの意見等】 <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムショップの水準向上や、経年劣化した施設の修理が望まれる。 	【平成 29 年度の取り組み等】 <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムショップの利用者アンケートの満足度が向上するよう、事業者と定期的な打合せを実施した。 ・修繕は緊急性や費用の面を検討し実施した。
目標⑦ すべての人にとって利用しやすい環境を整える	
【評価委員会からの意見等】 <ul style="list-style-type: none"> ・目標数値が適正であったか検討すべき 	【平成 29 年度の取り組み等】 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉関連事業の事業内容を検討し、過去の参加人数を踏まえ目標値を設定した。

(2) 今回（平成 29 年度）評価時にいただいた意見等に対する今後の取り組み等について

使命Ⅱ 美術に対する理解と親しみを深める 目標⑤ 所蔵作品を充実させ、適切に管理する	
【評価委員会からの意見等】 <ul style="list-style-type: none"> ・美術品等取得基金にかかる市議会の議論や行政の取り組みの概要を資料に簡潔にまとめることを望む。 	【今後の取り組み等】 <ul style="list-style-type: none"> ・監査委員の意見や市議会の議論を資料としてまとめ提出する。
使命Ⅲ 訪れるすべての人にやすらぎの場を提供する 目標⑥ 利用者にとって心地よい空間、サービスを提供する	
【評価委員会からの意見等】 <ul style="list-style-type: none"> ・受託事業者に対し、定期的な打ち合わせチェックが必要である。 	【今後の取り組み等】 <ul style="list-style-type: none"> ・特にミュージアムショップの満足度を向上させるためのため、オリジナル商品開発に向け協力を進めていく。

3 平成 29 年度の評価について

使命Ⅰ 美術を通じた交流を促進する

① 広く認知され、多くの人にとって横須賀市を訪れる契機となる。

【達成目標】年間観覧者数 100,000 人以上 平成 29 年度実績 118,370 人

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	A	前年度比 1 万人増を評価
実施目標	A	イベントの実施や広報活動等を講じ、観覧者確保に努めている

② 市民に親しまれ、市民の交流、活動の拠点となる

【達成目標】市民ボランティア協働事業への参加者数延べ 2,000 人
平成 29 年度実績 2,693 人

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	S	目標値を大きく上回っていることを評価
実施目標	S	達成目標に匹敵する定性的評価ができる

使命Ⅱ 美術に対する親しみを深める

③ 調査研究の成果を活かし、利用者の知的欲求を満たす

【達成目標】企画展の満足度 80%以上 平成 29 年度実績 89.6%

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	A	「観覧料」「解説・順路」など改善に限界がある中、「作品」「心的充足」で好評価を得てカバーしていることは評価
実施目標	A	企画展と合わせた講演会やワークショップが充実している

④ 学校と連携し、子どもたちへの美術館教育を推進する

【達成目標】中学生以下の年間観覧者数 22,000 人 平成 29 年度実績 27,345 人

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	S	14 歳以下の人口が減少傾向の中で、ファミリーが訪れやすい時期に若年層、とりわけ幼児向けの事業を実施した結果と思う
実施目標	A	夏休みに美術や図工の教科書にある作家など、子どもや保護者が興味を持つ内容の企画展をお願いしたい

⑤ 所蔵作品を充実させ、適切に管理する

【達成目標】 環境調査の実施（年2回）、美術評価委員会の開催（年1回）

平成29年度実績 環境調査2回実施、美術評価委員会を1回開催

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	A	環境調査等の回数は目標を達成している
実施目標	C	美術品等取得基金にかかる市議会の議論や行政の取り組みの概要が簡潔にまとめられることを望む

使命Ⅲ 訪れるすべての人にやすらぎの場を提供する

⑥ 利用者にとって心地よい空間、サービスを提供する

【達成目標】 館内アメニティ満足度 90%以上、スタッフ対応満足度 80%以上

平成29年度実績 館内アメニティ満足度 92.8%

スタッフ対応満足度 86.8%

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	S	この高い水準を維持するには、継続した取り組みが随時確認、更新されていくことが必要である
実施目標	A	受託事業者に対して、定期的な打合せチェックが必要である

⑦ すべての人にとって利用しやすい環境を整える

【達成目標】 福祉関連事業への参加者数延べ420人以上

平成29年度実績 435人

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	A	目標数値を達成しているが、参加者を増やそうとしてもスタッフが対応できるか疑問が残る
実施目標	A	広報活動の工夫や強化、企画内容の充実などが結果に結びついている

- ⑧ 事業の質を担保しながら、経営的な視点をもって、効率的に運営・管理する
 【達成目標】電気使用量、水道使用量、事務用紙使用枚数を直近3年間の平均を目安とする

	H29 (目標)	H29 (実績)
総電気使用量 (kwh)	2,521,000	2,539,289
水道使用量 (m ³)	4,280	4,608
事務用紙使用枚数 (枚)	226,900	259,550

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	A	目標数値は超過したが、観覧者数は増加しており、スリム化が十分に図られてきているところでの使用量増加は致し方がないのではないかと、維持管理やサービスの不足にならないよう今後も継続してもらいたい
実施目標	A	展覧会関連出張の効率的な計画は必要だが、交渉相手の都合に左右される要因も勘案する必要がある

※詳細は別添「平成29年度 横須賀美術館 運営評価報告書」のとおり。

【参考：平成30年度 横須賀美術館 事業計画書】別添